令和5年度　小浜市立加斗小学校学校評価総合シート　　**未来想像**　～自分の未来・ふるさと小浜の未来・社会の未来を切り拓く人材の育成～　**いのち・みつける・つながる・みらい**の教育を重点取組項目として取り組む加斗小学校の教育

項目	指標	回答者	具体的な取り組み	評価の観点・目標指数	判定基準 A	B	C	D	目標指数 A+B	結果 A+B	課題	成果と課題	改善策・向上策
いのちの教育	成果	児童	1　人の命、自然の命が最優先の教育 ・生命の大切さを学び尊ぶ教育の推進	人の命や自然の命が大切だと思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100		・すべての項目で、ほぼ100%にちかい結果となった。 ・いのちの教育（保健）では、今年度は「命を救う」を目標に、目の前で人が倒れた時に正しい行動がとれるように、全学年指導を行った。特に高学年は、夏の救急講習会を親子で参加したり、BL授業を通して命の大切さを学んだりした。 ・人権教育講演会では、盲学校の先生のお話を聞き、自分や友達を大切にすることを改めて学ばせてもらうことができた。これらの教育が、児童・保護者・教職員の評価が高いことにつながった。	・今年学んだことを、今年だけで終わるのではなく、保健の授業で振り返る時間を継続していく。 ・担任は、2学期に1回子どもたち一人ひとり個々で話を聞いて、様子を把握する。また相談しやすい環境を整える。（ASESSや人権週間なども活用） ・学期末にみんな遊びを子どもたちで計画して行う。（低学年遊び）また、縦割り活動も積極的に行い、縦のつながりも大切にする。
	成果	保護者		お子様は、人の命や自然の命が大切だと思っていますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100			
	取組	教職員		人の命や自然の命が大切だという教育の推進ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできていない	できていない	80	100			
	満足	児童	2　食育・体育・健康教育・安全教育 ・健康で豊かな生活を送るための食育 ・安全で安心できる最適環境づくり、未然防止	学校は安全に過ごせる場所であり居心地が良いですか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100			
	満足	保護者		お子様は、学校は安全に過ごせる場所であり居心地が良い、と思っていますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100			
	取組	教職員		安全に過ごせる場所であり居心地が良い学校づくりができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	100			
	成果	児童	3　人権教育と道徳教育、生徒指導と教育相談 ・自他を唯一無二として理解し、敬う ・生活理解教育と相談体制の充実	あなたは、自分や友だちが大切だと思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100			
	成果	保護者		お子様は、自分や友だちを大切にしていますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100			
	取組	教職員		自分や友だちを大切にする教育の推進ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	100			
	満足	児童		あなたは学校に来るのが楽しいですか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	98			
	満足	保護者		お子様は、学校に来る（行く）のが楽しいと思っていますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	98			
	取組	教職員		子どもたちが学校に来るのが楽しい、と思える学校づくりができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	90	△		
みつける教育	成果	児童	1　学ぶ喜び、知る楽しさを体感する学習 ・問題（課題）解決学習の推進と3Sの充実 ・児童が主体的に学ぶ探究的学習の推進	学校での体験学習が楽しいですか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	98		・「3自他の良さを見つけ大切にする教育」について課題がある。児童・保護者ともに児童が自己の良さを見つけているという点について評価が低く、教職員も自己肯定感を高める取り組みをあまりしていないというところに課題がある。80%を下回っていないが、取り組みを考える必要がある。	・学級で一つ、日常的な内容で、具体的な取り組みを考えて実行する。（今日のMVP、今日のありがとう、など） ・学活などの時間に「友だちのいいところスリーヒントクイズ」を実施する。 ・放送委員会主催で「ありがとう放送」を実施する。
	成果	保護者		お子様は、体験学習を通して楽しく学んでいると思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100			
	取組	教職員		子どもたちが体験し主体的に学ぶ探求的な授業づくりができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	90			
	満足	児童	2　個別最適化の教育 ・一人ひとりに合った最適な学習の推進 ・特別支援教育の充実	学校での授業は、理解することができましたか。（わかりますか）	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	96			
	満足	保護者		お子様に合った学習が実施されていると思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	98			
	取組	教職員		1人ひとりの特性に合った授業づくりを心がけましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	89			
	成果	児童	3　自他の良さを見つけ大切にする教育 ・自己肯定感と有用感の醸成 ・自分探しから始めるキャリア教育の推進	自分の良いところを見つけることができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	91			
	成果	保護者		お子様は、自分の良いところを知っていると思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	87			
	取組	教職員		子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高める手立てができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	80			
つながる教育	成果	児童	1　人のつながり ・児童同士、児童と教師　・教師同士 ・専門機関、保幼小、小中の連携 ・みらいの自分	友だちと話し合って、協力して学習を進められましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	100		・すべての項目で、ほぼ100%に近い結果となった。児童の自己評価はどちらも100%という良い結果である。 ・8の項目について保護者の評価がやや低いが，保護者には判断しにくかったのかもしれない。 ・どの学年も地域とのつながりをもつ学習をしたので，その成果が児童と保護者の評価に表れている。	・子どもたちが自分の考えを伝える場を多く設定する。 活動後の全校での感想発表の時間を今までどおりもつ。 ・おたよりや連絡帳，ホームページなどで学校の様子を伝えたり，保護者との意思疎通を図ったりする。 ・地域のボランティアの方の協力も得ながら地域を知る活動を続ける。
	成果	保護者		お子様は、自分の意見や友だちの意見を大切にすることができていますか。	できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	80	93			
	取組	教職員		子どもたちが意見を出し合い話し合って学習を進める授業づくりができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	100			
	取組	保護者	2　社会とのつながり ・社会に開かれた教育課程の実現	学校は、地域や保護者を大切にしていると思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	98			
	取組	教職員		保護者や地域を大切にした授業づくり・学校づくりの推進ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	90			
	成果	児童	3　ものとのつながり ・加斗の宝、小浜の宝とのつながり	ふるさと（加斗地区）が好きですか。	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない	80	100			
	成果	保護者		お子様は、ふるさと（加斗地区）が好きだと思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	96			
	取組	教職員		ふるさと（加斗地区）の良さを見つける教育の推進ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	90			
みらい教育	成果	児童	1　自分・小浜・社会の未来学習 ・自分・小浜・社会の今を知り未来を考える	自分やふるさとの未来を考えることができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	93		・各学年でカリキュラムマネジメントを工夫し、子どもが生き生きと活動するふるさと学習の充実を図ることができた。全校での蒼島学習、高学年の学校林での学習はとても充実した。ただ自分の夢につながる学習や未来をデザインする学習につなげていくことに課題がある。 ・タブレット端末の活用は、調べ学習や家庭での学習、オンライン学習等、多様にできている。 ・英語学習は専科教員やALTとの授業が充実した。外国の文化や様子について学習する機会を多く持つことができなかった。	・夢へのパスポートをこれまで以上に活用し、ふるさと学習から夢へとつながる学習の工夫、改善に取り組む。 ・新しいアプリケーションを活用できるように進めていく。 ・市の活用表にのっとって各学年学習で活用し力をつけていることを確認する。 ・外国の文化や様子についてICTを活用し、学習する機会を増やす。
	成果	保護者		お子様は、夢を持つなど未来のことを考えていると思いますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	75	＊		
	取組	教職員		子どもが自分やふるさとの未来を考える教育の推進ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	88			
	取組	児童	2　ICT機器を活用した教育 ・ICT機器を活用した快適な教育環境	タブレットを使って学習することは楽しいですか。	楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	80	100			
	取組	保護者		お子様は、タブレットなどを使って学ぶことを楽しいと思っていますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	100			
	取組	教職員		タブレット等ICT機器を使っての授業の推進ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	100			
	成果	児童	3　国際社会を生き抜く ・異文化を理解する広い視野を持つ	あなたは、外国の文化について学ぶことができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	88			
	成果	保護者		お子様は、外国の文化について興味を持っていますか。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	80	70	＊		
	取組	教職員		子どもたちが外国の文化に触れる機会を計画することができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	25	＊		
	取組	教職員	4　教職員の働き方改革	ワークライフバランスを考えて働くことができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80	100			